
III. 奈良公園での取り組み

○ 奈良公園での取り組み

「奈良公園基本戦略」

基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の価値を積極的に維持し、さらなる魅力の向上や魅力の創出に努める。

基本方針の実現に向けた

3つの柱

維持 ① 価値を守る

利活用 ② 魅力を活かす

取組体制 ③ 県が主体的に取り組む



○ 奈良公園での取り組み

維持

① 価値を守る

◇ 自然資源の保存

春日山原始林の保全

◇ 歴史・文化資源の保存

奈良公園の植栽の適切な管理

奈良のシカの適切な保護・育成

◇ 公園資源の保存

奈良公園の行催事への支援

⋮

利活用

② 魅力を活かす

◇ にぎわいづくり

吉城園周辺地区の整備、(仮称)登大路ターミナルの整備

若草山のにぎわいづくり

◇ コンベンションによる振興

飛火野周辺地区の整備(鹿苑)

県庁周辺地区の整備

◇ 移動の円滑化

新公会堂周辺地区の整備

◇ 周遊環境の向上

ぐるっとバスの運行、鹿ゾーンの対策

案内サインの整備

◇ 来訪者の満足度の向上

トイレの整備

◇ 情報発信と享受

外国人を含めた観光客へのおもてなし

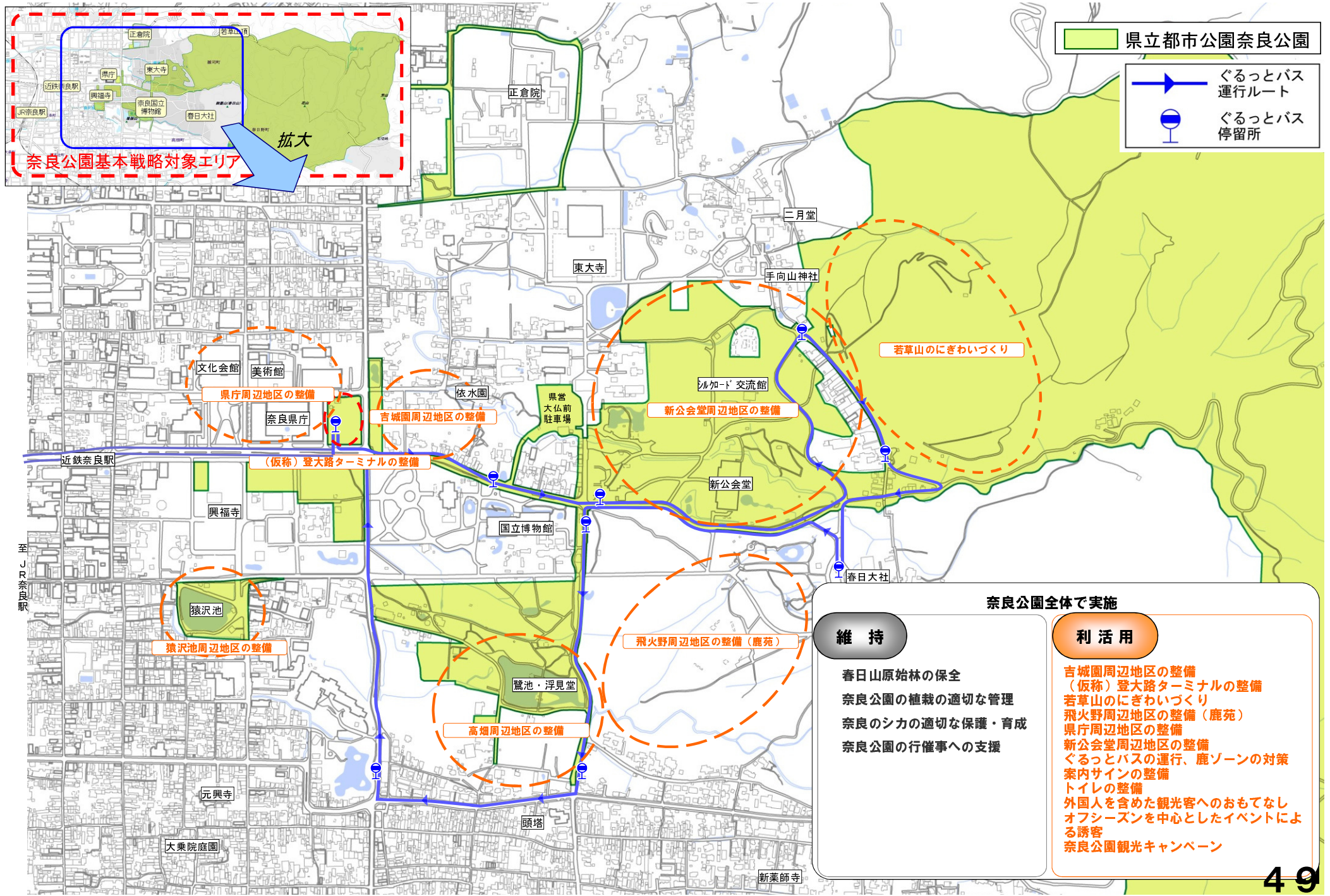
オフシーズンを中心としたイベントによる誘客

奈良公園観光キャンペーン

⋮

奈良公園の魅力向上・地域の活性化

○ 奈良公園での取り組み



維持

春日山原始林の保全

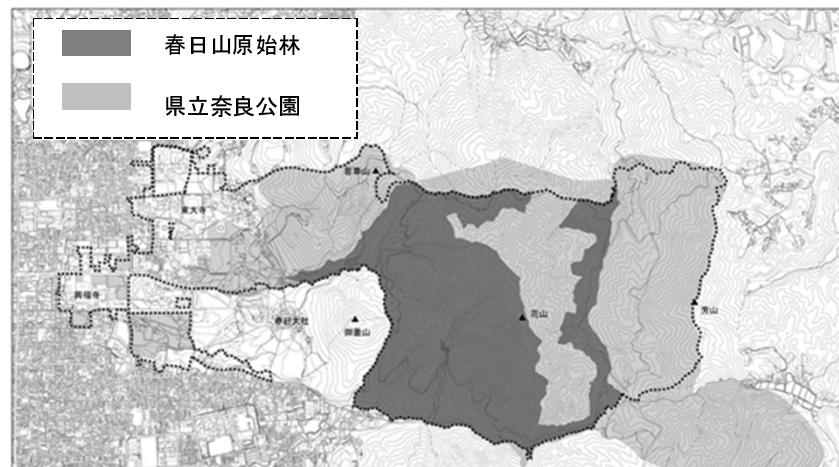
◇ 春日山原始林を保全し、次代に継承するため、春日山原始林保全計画を策定する。さらに、喫緊の課題に対応するための効果的な方策を確立するために、実証実験とその検証により、着実に保全につながる取り組みを推進する。



後継樹・
下層植生
が更新不
良の林の
状況



ナラ枯れ
被害を受
けたコシ
イ大径木



春日山原始林保全計画検討委員会

第1回 平成25年2月8日、第2回 平成25年4月26日
第3回 平成25年9月4日

委員長	吉田 博宣	京都大学 名誉教授
委員	川瀬 浩	春日山原始林市民連絡会 代表
	佐野 純子	奈良インターカルチャー 代表
	田中 和博	京都府立大学大学院 教授
	前迫 ゆり	大阪産業大学大学院 教授
	松井 淳	奈良教育大学 教授
	宮城 俊作	奈良女子大学 教授
	山倉 拓夫	大阪市立大学 名誉教授

花山・芳山地区保全・利活用部会

第1回 平成25年3月18日
第2回 平成26年2月19日予定

部会長	田中 和博	京都府立大学大学院 教授
委員	花山院 弘匡	春日大社 宮司
	五條 良知	金峯山寺 執行長
	宮城 俊作	奈良女子大学 教授
	寺岡 伸吾	奈良女子大学 准教授

春日山原始林保全計画 進行状況

実施済みの内容

- 保全計画の検討 …目標値及び具体手法を検討した。
- 植生保護柵の設置 …実証実験として5箇所柵の設置を行った。
- 隣接する人工林での文化財修理資材供給可能性の検討 …栓皮採取実験を実施した。

植生保護
柵の設置
状況



今後の取り組み内容

- 保全計画の策定
実施計画、マニュアルを検討する。
- 植生保護柵の継続設置、モニタリング調査の実施
引き続き設置数を増やしていくとともに、モニタリング調査実施によって柵設置箇所の植生の変化を追跡する。
- 外来種の駆除
ナンキンハゼ、ナギ等の外来種の拡大状況を巡視し、除去を行う。
- ナラ枯れ対策
ナラ枯れ被害拡大状況を巡視し、被害木の処置を行い、被害拡大を抑制する。
- 原始林保全活動に参画する組織作り
奈良公園観光地域活性化基金の受け皿ともなる組織を作り、多様な主体の参画を促進する。
- 隣接する人工林での間伐、栓皮採取
花山・芳山人工林の適正管理を行う。一部は文化財修理資材供給林としての管理を行う。



モニタリング調査



ナラ枯れ対策

維持

奈良のシカの適切な保護・育成 ①

◇「奈良のシカ」は、古来から人々に親しまれ、国の天然記念物になっているため奈良のシカ保護管理計画を策定する。
さらに喫緊の課題に対応するため、必要な対策を講じるものである。

一方で、様々な問題・課題を抱える

人との軋轢、
周辺環境への被害

●周辺農家の食害



シカの生活環境・
健康の課題

●頭数(生息密度)

H25:1,393頭

過密状態!

多岐にわたる検討課題

●交通事故

交通事故死亡頭数
H25:100頭

●人身事故

奈良公園のシカ相談室
H24:42件

●春日山原始林の食害
→原始林荒廃の要因

●食料(栄養)状態
ゴミの誤飲 等



死亡したシカの
胃の内容物

その他生態等の
各種実態把握

保護管理計画策定に向けて

奈良のシカ保護管理計画検討委員会

「人と鹿との共生」を今後も継続し、奈良公園の鹿にとって幸せな将来を構築するため、適切な保護管理手法の検討を行う。

《委員一覧》

村上 興正 (委員長)	京都精華大学 非常勤講師
朝廣 佳子	鹿サポーターズクラブ 会長
小西 凉治	一般財団法人奈良の鹿愛護会 事務局長
立澤 史郎	北海道大学大学院 助教
玉手 英利	山形大学 教授
鳥居 春己	奈良教育大学 教授
松井 淳	奈良教育大学 教授
渡邊 伸一	奈良教育大学 教授

平成25年12月17日 第1回委員会開催

奈良のシカ保護管理計画 進行状況

検討状況

第1回委員会開催(平成25年12月17日)

●現況と課題 ～「奈良のシカ」は、どのような課題を抱えているのか？～

- (i) 奈良のシカ自身の現状・課題
個体数変動、生息状況・生息密度、栄養状態について
- (ii) 奈良のシカが起因となる各種被害状況
農作物の食害、人身被害、交通事故状況、生態系への影響(原始林、植栽等)

★「奈良のシカ」の特質を踏まえて…

- ・歴史的経緯、文化的背景、観光資源
- ・生態的特質
(閉鎖的空間、生息密度が高く個体数変動が少ない・人間への馴化・角伐等)

今後の検討について

第2回委員会(平成26年4月予定) ※平成26年度中に3回開催予定

●「奈良のシカ保護管理計画」策定に向けて

非常に多岐にわたる課題 → 引き続き 現況・課題の整理

- (i) 既往調査の整理、及び、それを踏まえた新規調査・継続調査の検討
- (ii) 個々の課題に対する取り組み
被害軽減を優先的に
 - ・農業被害…防鹿柵の設置(文化庁補助)及び効果検証
 - ・人身被害…人身事故発生状況の整理、効果的な防止策の検討

維持

奈良のシカの適切な保護・育成 ②

◇ 老朽化が著しく、鹿の保護環境も悪い鹿苑を改修し、周辺環境を改善するとともに、観光資源として活用する。

鹿苑の現状



▲老朽化の進む外周柵



▲施設からの汚水が垂れ流し



今後の取り組み

- ◆ 外周柵のリニューアル
- ◆ 排水処理施設の整備 など

